

Ⅲ.ふれあい豊かな活力に満ちたまち

1.観光交流・健康産業を創出します

(1) 特色や魅力を生かした集客力の向上を図ります

- ①集客・誘客活動を強化します
- ②特産品開発研究体制を整えます
- ③再訪をうながす魅力的なサービスを提供します

(2) おもてなしの心の醸成を図ります

- ①おもてなしの心を育みます

(3) ものづくり体制と活動を強化します

- ①地域完結型ものづくりの仕組みをつくります
- ②健康産業にふさわしいものづくりを支援します

2.町外からの来訪しやすさを高めます

(1) 町外との道路ネットワークを強化します

- ①災害に強い道路ネットワークの整備を促進します
- ②町内外との連携を高めます
- ③東海環状自動車道 IC の利用しやすさを確保します
- ④町内の観光交流拠点との連携を高めます

(2) 鉄道やバスでの来訪のしやすさを高めます

- ①利用しやすい環境を提供します

3.経営基盤の安定化に向けた支援を行います

(1) 経営改善への支援をします

- ①効率的かつ安定的な農林業経営に向けた改善への支援をします
- ②小規模事業者の経営改善への支援をします

(2) 6次産業を推進します

- ①新たな流通ルートを確立します
- ②地産地消を推進します
- ③地域ブランドを構築します

(3) 就労の場の確保と社会参加の促進を図ります

- ①新たな進出を奨励します
- ②雇用環境の向上を図ります

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

1 観光交流・健康産業を創出します

(1) 特色や魅力を生かした集客力の向上を図ります

豊かな森林資源や自然環境をはじめ、既存の観光資源の魅力をより一層高め、地域文化・地域住民との交流ができる地域の特性を生かした体験型観光サービスを提供していきます。

計画期間である 5 年間では、引き続き、体験学習プログラムへの参加者数を目標値に設定し、再訪をうながす魅力あるサービス提供に力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成 27 年度)	担当課
	実数値	年度		
体験学習プログラム参加者数 (人/年)	5,000	H22	5,500	水源地域ビジョン推進課
着地型観光旅行商品の開発・商品化	—	H22	商品化	商工観光課
観光交流年間入込客数 (人/年)	2,700,000	H22	2,700,000 (現状維持)	
ホームページ開設観光関連施設数	—	H22	観光関連施設の 100%	

① 集客・誘客活動を強化します

パソコンや携帯電話からの情報習得など、さまざまな媒体を活用した PR・情報案内を強化します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
情報提供サービスの拡充に向けた調査・研究	政策広報課
来訪者ニーズの把握	商工観光課
観光宣伝事業の実施 (ホームページや観光パンフレットの充実)	政策広報課

□主な前期の成果□

成果	説明
観光宣伝事業の実施	観光マップの作成や観光プレゼンテーションの実施など

② 特産品開発研究体制を整えます

新たな特産品づくりに向け、地域にある資源を研究するとともに、商品開発から生産体制の構築に向けた取り組みを行い、市場に支持される特産品をつくりあげます。

■ 主な取り組み内容 ■

事務事業	担当課
特産品開発の推進	農林振興課 商工観光課

□ 主な前期の成果 □

成果	説明
庁内専任体制の設置	特産品開発室の設置
特産品販売促進事業の実施	特産品販売促進の支援
大特産市の実施	JR 金山総合駅構内

③ 再訪をうながす魅力的なサービスを提供します

再度来訪する魅力や、町内に長時間滞留して、楽しめる環境を整えます。既存の街並みを活用した新たな観光地の創出や徳山ダム周辺を利用した体験活動を充実させることにより、魅力的なサービスを提供します。

■ 主な取り組み内容 ■

事務事業	担当課
徳山ダム周辺を利用した体験活動の充実（水源地域ビジョンの推進）	水源地域ビジョン 推進課
体験学習プログラムに基づいた事業の実施	
街並みを活用した新たな観光地の創出	商工観光課
谷汲門前街景観整備事業の実施と整備資源の有効活用	
観光プランの充実	商工観光課 政策広報課
観光地のネットワーク化の推進	
観光宣伝事業の実施（再掲）	
イベントの企画・開催	

Ⅲ. ふれあい豊かな活気に満ちたまち

□主な前期の成果□

成果	説明
揖斐川水源地域ビジョン推進事業の実施	徳山ダム周辺の施設や自然を活用した下流域住民との交流
「徳山ダム号」の運行	日本一の徳山ダムをはじめとする町内の主な観光地（谷汲山華厳寺、両界山横蔵寺、揖斐高原、揖斐峡、いびがわ温泉）を周遊
まちづくり事業の実施	谷汲門前まちづくり事業の実施など

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

(2) おもてなしの心の醸成を図ります

歴史的、文化的、自然的観光資源を生かして、おもてなしの心に満ちた観光交流の振興を図ります。

計画期間である 5 年間では、引き続き、集客イベントの年間参加数を目標値に設定し、来訪者の受入れ体制の充実に力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成 27 年度)	担当課
	実数値	年度		
イベントの年間集客数 (人)	220,000	H22	220,000 (現状維持)	商工観光課

① おもてなしの心を育みます

観光リピーターの確保による地域経済への波及効果を高めるため、住民向けのおもてなしの心向上セミナー等を開催し、住民が一体となって観光客を迎える「おもてなしの心」を育みます。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の受入れ体制の充実 (民泊等)	全庁
いびがわマラソンの受入れ体制の充実	
おもてなしの心向上セミナー等の開催	商工観光課
街並み散策の拡充	

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

(3) ものづくり体制と活動を強化します

さまざまな技術や知恵を活用し、市場に支持されるものづくりを実践する体制とその活動を強化します。特に、生産から加工・販売といった地域内で完結するしくみを構築するほか、心身の健康づくりにつながる、ものづくりを支援します。

計画期間である 5 年間では、引き続き、ぎふクリーン農業表示制度の登録面積を目標値に設定し、安心して安全な農作物づくりに力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成 27 年度)	担当課
	実数値	年度		
ぎふクリーン農業表示制度 登録面積 (ha)	1,399	H22	1,399 (現状維持)	農林振興課

① 地域完結型ものづくりのしくみをつくります

町内におけるものづくりの実態を把握し、生産から加工・販売までの全町的なものづくりのしくみを確立します。併せて、特産品を開発する住民の取り組みを支援し、新たな特産品づくりやその取り組みを応援します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
実態調査および調査結果に基づく対策の実施	農林振興課
特産品開発の取り組みに対する支援の実施	

□主な前期の成果□

成果	説明
特産品開発の支援	実バラの生産と販売など

② 健康産業にふさわしいものづくりを支援します

お茶や米、薬草をはじめとする安全で安心な農産物の生産や、健康産業にふさわしい新たなものづくりを支援します。

■ 主な取り組み内容 ■

事務事業	担当課
安全・安心な農林産物生産への支援	農林振興課

□ 主な前期の成果 □

成果	説明
特産品開発の支援	よもぎを活用した特産品開発の支援

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

2 町外からの来訪しやすさを高めます

(1) 町外との道路ネットワークを強化します

町外から観光拠点をはじめとする目的地までのアクセス道路を整備し、町内外の連携や東海環状自動車道 IC からの利便性を確保します。また、点在する観光拠点間の道路ネットワークを整備し、複数の拠点や施設・場所を周遊しやすい条件を整えます。

計画期間である 5 年間では、引き続き、国道の 2 車線化未整備道路の解消を目標値に設定し、町外からの来訪しやすいアクセス道路づくりに力を注ぎます。

■目標指標■

指標		現状		目標 (平成 27 年度)	担当課
		実数値	年度		
国道の 2 車線化未整備延長 (km)	303 号	0.6	H22	0.3	建設課
	417 号	4.2		3.6	

① 災害に強い道路ネットワークの整備を促進します

災害時に地域の孤立を防ぐために、山間地域等へのアクセス道路の複数路線化を促進します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
町道・農道・林道の整備	建設課
橋梁の耐震工事の実施 (再掲)	農林振興課

② 町内外との連携を高めます

国道 303 号と国道 417 号の整備を促進し、近畿圏や北陸圏からのアクセスしやすい道路づくりを進めます。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
国道 303 号整備の要望	建設課
国道 417 号整備の要望	

◆地域別課題と課題に対する取り組み◆

地域	説明	
藤橋	課題	国道 417 号（東横山－鶴見）の整備
	取り組み	整備の要望
坂内	課題	国道 303 号鉄嶺トンネルの整備
	取り組み	整備の要望

□主な前期の成果□

成果	説明
川上バイパスの開通	平成 20 年 11 月開通
国道 417 号の整備	岡島橋架替えの事業着手、付替え道路の開通
奥いび湖大橋の事業着手	国道 303 号横山ダム湖の横断橋

③ 東海環状自動車道 IC の利用しやすさを確保します

都市計画道路等の整備を促進し、東海環状 IC から来訪しやすい道路づくりを進めます。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
都市計画道路整備 （東海環状自動車道大野神戸 IC（仮称）へつなぐ都市計画道路整備の推進と池田町からの都市計画道路整備の検討）	建設課
県道本庄揖斐川線（東海環状 IC へのアクセス道路）整備の要望	

④ 町内の観光交流拠点との連携を高めます

町内に点在する観光交流拠点や施設との連携を強化し、町内の複数の場所への周遊を誘引する道路づくりを進めます。また、案内板・誘導サインを設置し、町外からの来訪や町内における周遊が容易にできる環境を整えます。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
主要地方道山東本巣線整備促進の要望	建設課
主要地方道春日揖斐川線整備促進の要望	
県道揖斐川谷汲山線小野坂トンネル整備の要望	
他圏域からの誘導サインの整備	商工観光課
周遊ルートの設定	

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

◆地域別課題と課題に対する取り組み◆

地域	説明	
谷汲	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道揖斐川谷汲山線小野坂トンネルの整備 ・ 主要地方道山東本巣線の整備
	取り組み	整備の要望
春日	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般県道川合垂井線の整備 ・ 下ヶ流バイパスの整備 ・ 香六川合間のバイパス整備
	取り組み	整備の要望

□主な前期の成果□

成果	説明
主要地方道山東本巣線の整備	災害時緊急用応援道路の完成
県道揖斐川谷汲山線小野坂トンネルの早期整備に向けた取り組み	新小野坂トンネル道づくり委員会の開催

(2) 鉄道やバスでの来訪のしやすさを高めます

公共交通機関に対する経営支援、町内の各観光交流拠点を周遊できる環境を整え、増加傾向にある余暇を楽しむ中高年層をはじめとする鉄道やバス利用による来訪者の利便性を確保するとともに、地域住民の通勤や通学などのニーズにも的確に対応していきます。

計画期間である 5 年間では、特に鉄道の利用者数を目標値に設定し、住民や来訪者の多様な行動形態に対応した鉄道の運行に力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成 27 年度)	担当課
	実数値	年度		
養老鉄道揖斐駅乗降客数(人/日)	1,743	H22	1,830	政策広報課

① 利用しやすい環境を提供します

利用しやすい公共交通環境を提供する一方、高齢化社会に配慮するとともに、各地域の特性や人の移動を視点とした交通の在り方を検討していきます。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
養老鉄道・樽見鉄道の存続	政策広報課
鉄道とコミュニティバスのダイヤ調整(再掲)	
公共交通に対する調査研究(再掲)	
養老鉄道揖斐駅周辺整備事業の推進(再掲)	
らくらく参道バスの有効活用	商工観光課

□主な前期の成果□

成果	説明
養老鉄道・樽見鉄道の存続	経営支援の実施
鉄道とコミュニティバスのダイヤ調整の実施	バス路線の新設や見直しを実施 (新設 2 路線)
谷汲らくらく参道バス運行事業の実施	谷汲らくらく参道バスの運行

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

3 経営基盤の安定化に向けた支援を行います

(1) 経営改善への支援をします

厳しい経済環境やめまぐるしく変化する消費者ニーズ、地域や国境を越えた競争の激化など、時代の変化に対応できる経営力を高めていきます。特に、高齢化が進む農林業では、効率的かつ安定的な経営の実現に向けた支援を行う一方、小規模事業者の経営改善や中小企業者の学習機会の提供に取り組み、地域における経営基盤の強化を図ります。

計画期間である5年間では、特に農業生産法人数を目標値に設定し、農業経営基盤の強化に力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成27年度)	担当課
	実数値	年度		
農業生産法人数	8	H22	11	農林振興課
認定農業者数	91	H22	91 (現状維持)	
1 事業所あたりの年間出荷額 (百万円/年)	—	H22	H23 実数値の 現状維持	商工観光課

① 効率的かつ安定的な農林業経営に向けた改善への支援をします

専門家による相談・指導体制を充実するとともに、時代に対応した農林業基盤を整備し、効率的・安定的な農林業経営への支援をします。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
耕作放棄地の再生	農林振興課
認定農業者の確保・育成	
地域営農組織の育成	
地域活性化アドバイザーの充実	
ぎふクリーン農業の推進	
地場農産物等の育成	
食育の推進（再掲）	農林振興課 学校教育課
農地、農業施設的环境保全	農林振興課
鳥獣被害対策の実施	
農林業基盤整備の推進	
産直住宅建設への支援	

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

□主な前期の成果□

成果	説明
耕作放棄地解消・新規特産品開発支援事業の実施	耕作放棄地を利用した特産品開発支援
産直住宅建設への支援	産直住宅日本一推進事業の実施

◆地域別課題と課題に対する取り組み◆

地域	説明	
藤橋・坂内	課題	重点的な鳥獣被害対策の実施
	取り組み	捕獲に対する支援

② 小規模事業者の経営改善への支援をします

専門家による指導や巡回窓口相談など、小規模事業者それぞれの状況にあった指導や相談を行う一方、中小企業融資保証制度の活用を促し、経営改善の資金面での支援をします。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
プレミアム商品券への支援	商工観光課
中小企業融資保証制度の実施	

□主な前期の成果□

成果	説明
プレミアム商品券への支援	地域商業活性化への取り組みに対する支援

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

(2) 6次産業を推進します

農業者等が、加工・流通・販売に取り組む経営の6次産業化を進め、そこから生じる付加価値を農業経営に取り組んでいくことにより農業の活性化を図ります。

計画期間である5年間では、特に6次産業に取り組む事業者・団体等の支援件数の目標値を設定し、都市と農村との交流や経営の多角化等に取り組む事業者・団体等に対する支援体制の強化に力を注ぎます。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成27年度)	担当課
	実数値	年度		
6次産業に取り組む事業者・団体等の支援件数	0	H22	5	農林振興課

① 新たな流通ルートを確立します

マーケットの分析を行い、消費者の多様なニーズに適合した地場農産物等の販路拡大を推進します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
新たな流通ルートの調査研究（民間企業との連携）	農林振興課
インターネット等を活用した製品の販売	政策広報課
道の駅等での直売の推進	商工観光課

② 地産地消を推進します

地域で生産された農産物等を地域で消費する「地産地消」の普及をはかり、学校給食や企業などにおける地場農産物の活用を促進します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
地場農産物の活用の促進	農林振興課
学校給食地産地消推進事業の実施	学校教育課

□主な前期の成果□

成果	説明
学校給食地産地消推進事業の実施	給食に地域の食材を使用

③ 地域ブランドを構築します

農産物のブランド化を進め、消費の拡大を目指します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
農林産物のブランド化	農林振興課 商工観光課

Ⅲ. ふれあい豊かな活力に満ちたまち

(3) 就労の場の確保と社会参加の促進を図ります

既存企業の事業活動を支援するとともに、町外からの企業の新規立地を促進し、安定した雇用の場を確保します。

計画期間である5年間では、創業・起業する件数を目標値に設定し、支援体制の充実を図ります。

■目標指標■

指標	現状		目標 (平成27年度)	担当課
	実数値	年度		
支援事業による創業・起業件数(件/年)	0	H22	10	商工観光課

① 新たな進出を奨励します

起業家への支援や地場産業などの新たな展開への支援を行うとともに、企業誘致による産業の活性化や雇用の増加を目指します。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
町内への企業の新規立地を促進	企業誘致課
産業立地関連情報の発信・整備	商工観光課

② 雇用環境の向上を図ります

生涯を通して働ける就業の場の創出を図ります。

■主な取り組み内容■

事務事業	担当課
地域産業の活性化や新産業の創出支援	企業誘致課 商工観光課
女性の就業できる場の確保	
中高齢者や障がい者の雇用促進	